

# 【平成16年度 実績報告】 奈良市地球温暖化対策庁内実行計画

## (1) 全体目標と実績

### 目標

平成19年度までに、本市の事務及び事業における温室効果ガスの総排出量を平成13年度を基準として、4.8%削減するよう努めます。

※平成13年度と平成16年度の温室効果ガス排出量を比較すると、量で372t-CO<sub>2</sub>、また、率では、0.68%増加しました。

## (2) 個別目標と実績

### 1. 低公害車の導入

#### 目標

公用車への低公害車等の導入については、平成19年度までに保有する公用車のうち低公害車等の割合を概ね6%に増車するよう努めます。

※平成16年度の公用車の保有台数は755台で、内低公害車の導入台数は、35台で、割合は4.6%です。

### 2. 公用車における燃料使用量の削減

#### 目標

公用車における燃料の使用量は、平成13年度比で、平成19年度までにガソリン・軽油をそれぞれ概ね5%削減するよう努めます。

※全体では、6.3%増加(134.9t-CO<sub>2</sub>の増加)でした。

ガソリンについては、平成16年度は、平成13年度から16.5%増加(113.7t-CO<sub>2</sub>の増加)でした。

軽油については、ディーゼル車から、より環境にやさしいLPガス車・天然ガス車に切り替えたことにより、平成16年度は、平成13年度から25.3%削減(364.3t-CO<sub>2</sub>の削減)でした。

逆に、LPガス車・天然ガス車の導入により、液化石油ガス(LPG)の車の燃料としての使用量は、110,844kg増加(333t-CO<sub>2</sub>の増加)でした。また、都市ガスの車の燃料としての使用量は、26,341m<sup>3</sup>の増加(52.5t-CO<sub>2</sub>の増加)でした。

### 3. 電気使用量の削減

#### 目標

電気使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

※平成16年度は、平成13年度から1.6%削減(478.3t-CO<sub>2</sub>の減少)でした。

#### 4. ガス・石油使用量の削減

##### 目標

ガス・石油の使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

※全体では、14.3%削減(1,284.1t-CO<sub>2</sub>の削減)でした。

灯油については、平成16年度は、平成13年度から65.5%増加(577.7t-CO<sub>2</sub>の増加)でした。

重油については、平成16年度は、平成13年度から36.6%削減(1,233.9t-CO<sub>2</sub>の削減)でした。

液化石油ガス(LPG)については、平成16年度は、平成13年度から84.2%増加(181t-CO<sub>2</sub>の増加)でした。

都市ガスについては、平成16年度は、平成13年度から17.9%削減(808.9t-CO<sub>2</sub>の削減)でした。

#### 5. 上水道の適量使用

##### 目標

上水使用量を平成13年度比で、平成19年度までに概ね3%削減するよう努めます。

※平成16年度は、平成13年度から33.7%削減(511,842m<sup>3</sup>の削減)でした。

#### 6. 用紙類の使用量の削減

##### 目標

用紙類の使用量について、平成13年度比で、平成19年度までにコピー用紙を概ね5%削減するよう努めます。

※平成16年度は、平成13年度から7.1%増加(1,088,979枚の増加)でした。

#### 7. ゴミの発生抑制

##### 目標

ゴミの発生量を平成19年度までに5%減量します。

※平成16年度は、平成13年度から7.1%減量(7,810tの減量)でした。

### (3) 今後の重点取組事項

削減目標と実績を比較検討した結果、今後は次の取組を重点的にを行います。

- コピー枚数及びコピー用紙使用枚数を減らそう
  - ◇ 両面コピー・使用済み用紙の裏面利用の徹底
- 可能な限り、公用車の利用を減らそう
- アイドリング・ストップの徹底
- 始業前、昼休み時間、残業時には、不要な照明を消灯
- 夏は軽装、冬は重ね着をして適正冷暖房
- ごみの減量、分別の徹底